



The Japanese School of Melbourne

メルボルン日本人学校だより

令和6年度
4月臨時号
R6.4.29

めざす子ども像 *進んで学ぶ子 *心豊かで思いやりのある子 *たくましい子、やりぬく子

4月15日にプレップに1名、G1に2名の新生を迎え、メルボルン日本人学校の令和6年度が始まってから、あっという間に2週間が経ちました。初めは新しい教室、新しい先生に戸惑っていた子供たちも、今ではすっかり慣れて元気いっぱい登校してくれています。

「メル校の良さを探そう」と思いながら、子供たちが活動する校内を回っていると、ありとあらゆるところにその「良さ」があることに気がきます。なんと言ってもまずは「メル校の子供たち」です。どんなことにも興味をもって一生懸命取り組もうとしている姿、お互いを思いやりながら声をかけ合っている姿、男女や学年に関わりなく仲良く遊んだり学んだりしている姿・・・数え上げればきりがなほの良さがあひ、私はこのメル校の子供たちが愛おしくてたまひません。そして、「小規模校ならでは」の良さも感じます。みんなが家族のような存在になっていること、先生たちも自分の担当学級だけでなく全ての学年の子供たちのことをわかっていることは、このメル校の強みだと思ひます。また、保護者の皆様との距離が近いこともメル校の良さです。登下校の送り迎えの時に、顔を合わせて何気ないお話をする機会も多く、保護者の皆様のメル校愛もひしひしを感じてひます。そんな皆様の想いにお応えできよう、風通し良く学校運営をしていきたくと思ひてひます。

(校長 小橋 幸代)

以下、入学式、始業式、着任式の様子をお伝えします。



令和6年度入学式



プレップ 1名、 G1 2名 の新生です。少しはにかみながらも、とてもうれしそうな笑顔が素敵な記念写真となりました。これからお友だちと仲良く、楽しい学校生活を送ってくださいね。

着任式・始業式



7名の新着任教員を迎えての着任式、G9の代表が堂々と歓迎の言葉を述べてくれました。子供たちとの初めての出会いのために、全員で歌う校歌を自分たちも一緒に歌おうと新着任教員も日本で練習してきました。気持ち伝わっていたらうれしいです。

始業式ではG3、G6、G8の代表がそれぞれ意見発表として、今年度自分が頑張りたいことなどを発表してくれました。この一年頑張ろうという意欲が伝わってきました。校長からは、今年の合言葉として「元気いっぱい 笑顔いっぱい 優しさいっぱい みんな幸せメルボルン日本人学校」にしよう、そのために3つの大切「時間・心・命」をしっかり守り、みんなでさらに素晴らしい学校にしていこうと話しました。どの子の目もきらきらと輝いていて、とても素晴らしかったです。このきらきらした目の輝きをさらに増すことができるよう、教職員一同、心を一つに頑張っていきたいと思ひてひます。